



鈴峰中だより

令和3年6月28日

第7号

<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/jhreiho>

鈴鹿市立鈴峰中学校

6月14日

公開研究授業

— 3年生 —



市教委から3名の指導主事をお招きして研究授業を実施しました。3年生はどの学級でもとにかくよく手が挙がります。話し合いや、ペアになったの英会話練習にもとても協力的・積極的で、最高学年として実に頼もしい姿を見せてくれています。年度の後半は、保護者や地域の方にも学校の様子を参観していただける機会があればと楽しみです。



主体的・対話的な学びの場面を多く取り入れます。

14日のように外部講師等を招いた公開授業以外にも、校内公開の形で提案授業を行っています。研修主題は「『生徒の自己効力感を育てるための指導の工夫』—わかる授業と互いにつながりあう取り組みを通して—」です。新学習指導要領の掲げる「主体的・対話的で深い学び」を通して自ら考え行動することができる力を育てることを目的としていて、



新学習指導要領完全実施の今年から体育は男女共修。3年生は選択制です。



習熟度別の授業形態や、視覚教材の多用等の研究も進めています。

教員チームも「より効果的に」と授業改善がんばります。

一人1台パソコンで益々進む ICT 活用



操作にもかなり習熟し、スライドを使つての「プレゼン」も手早くこなせるようになってきました



視覚教材を提示するツールとして、パソコンやプロジェクター等 ICT 機器は素晴らしい力を発揮します。今年度は新たに生徒一人に1台のパソコンが整備されました。

以前ならグラフはチョークで作成し、黒板消しで消して修正し・・・でした。プロジェクター



授業の事後検討会議でも ICT の活用が増え、より正確に振り返りを行うことができました。

とタッチペンが使えるスクリーンが整備されたことによって、そういう場面での授業時間の効率が大幅に上がりました。一人に1台のパソコンが教室にあるので、昨年までは予約制で保管場所まで取りに行つて交代で使つてきたパソコンを、授業で必要な時にいつでも使えるようになりました。下の写真は道徳の授業の様子です。画面上の「付箋（ふせん）」に書いて



各教室据え置き充電保管庫。夜間に充電します。

ある友達の意見を読んで整理したり、付箋に書かれた全員の意見を見て、同じ内容の意見をまとめたりしています。短時間で全体の把握がで

きる上、自分の考えを深めて修正することもできます。手書きでの活動も大切ですので、場面によって両方の良さを取り入れられるよう授業研究を進める必要があります。



体育の授業では録画機能が断然威力を発揮します。自分の演技を見て「もっと前に手をつかなな。」などの声が出ます。

体育の授業では、録画により動作の客観的振り返りが各自で即座に可能になって、大きな学習効果が期待できます。

活用の研究は、まだ始まったばかりですが、学校間や校種間の連携を進めて、社会の変化に合わせて、変わらず大切な領域を見極めて残していかなければならないと考え、努めています。